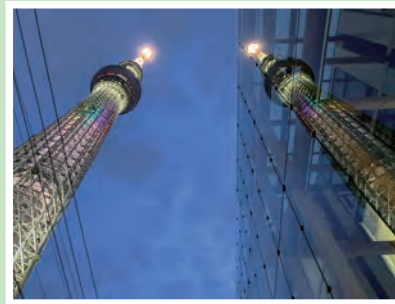


# つながる すみだ人

## 私の好きな すみだ

今月の1枚  
「スカイツリー×2」  
【撮影】伊賀圭吾さん

本コーナーへの写真を随時  
募集しています。詳細は区HP  
をご覧ください。



【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



臺加津美さん(太平在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第63回は、向島にある認可保育所「小梅保育園(向島3-42-1)」で副園長を務める臺加津美さんです。

### Q. すみだでどのような活動をしていますか？

小梅保育園で副園長をしています。小梅保育園では現在60人の子どもたちを預かっており、「地域に根ざした保育園」をめざして、園内だけではなく地域の皆さんの力もお借りしながら、地域ぐるみで子どもたちを育てていくことを大切にしています。例えば、前回のすみだ人に登場した高澤さんのお店「割烹 峰屋」の板前さんによる食育活動や、地域や町会で実施するお祭りへの参加、近隣の八百屋から仕入れた食材で作った給食の提供、高齢者

施設へ赴いての高齢者との交流など、地域の皆さんとの関わりを通じて子どもたちがいろいろな経験をすることに力を入れ、その経験から子どもたちが成長していくよう、日々応援しています。

また、園では毎年保護者と協力して、おすすめの絵本を紹介する冊子を作成しているのですが、出来上がった冊子は園内だけで使うのではなく、区の図書館にもお渡しして、子育て世代のリアルな声を区と共有するといったことも行っています。

### Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

保育士になったきっかけは、私が幼稚園のときにお世話になっていた先生が大好きで、小さい頃からその先生に憧れていたからです。保育士になった後はいくつかの民間保育施設を経験しましたが、小梅保育園の考え方に共感して、こういう保育園で働きたいと思い、平成25年から勤め始めました。

私が保育をするうえで大切にしていることは、子どもたちが自分の力を発揮するための下支えをすることです。これは、小梅保育園のモットー

「子どもたちには、力があります。」とも共通しています。先生だからといって何かを教えるのではなく、“先”に“生”まれた分だけ多い経験から得たことを必要なときに伝えて、それを基に子どもたちが自分で自分のやりたいことを形にできるよう、元々もっている力を引き出す手助けをしたいと思いながら保育に取り組んでいます。子どもたちに伝えられることを増やすために、私自身も日々、積極的に心を動かす体験をして、人として成長することを心掛けています。

### Q. 臺さんは、すみだのどんなところが好きですか？

いろんなジャンルのおいしいお店がたくさんあるところですね。保育園がある向島周辺もそうですし、区の南部・北部、どこへ行ってもその地域の良さをもつお店があって、そういったお店を巡るのがとても楽しいです。

それと、すみだは東京スカイツリー®のような新しいもののすぐそばに下町の景色が広がっていて、同じ区内でも目線を動かすと全く違う雰囲気が見えてくるのも、すみだならではの面白くて好きなところです。



◀毎年9月の地域のお祭りに合わせて、子どもたちが手作りのおみこしを引いて地域を練り歩きます。地域の方はとても温かく迎えてくれ、交流の足掛かりにもなっています。

▶勤労感謝の日には毎年、お世話になっている近所の方々に、子どもたちがプレゼントを持って直接感謝の気持ちを伝えに行きます。



### 次回登場してくださるのは・・・

文花で長年、理容室を営んでいる熊谷幸洋さんです。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



# 夢

## 落語家・五街道雲助さんを3人目の名誉区民として顕彰！

墨田区長

山本 亨

9月11日の区議会9月議会・本会議において、昨年、区民で初めて人間国宝となった落語家の五街道雲助さんを、名誉区民として新たに顕彰することが全会一致で決まりました。名誉区民としては、平成22年に王貞治さんと故・西山幸一郎さん(伝統工芸・押絵羽子板)を顕彰しており、今回で3人目となります。

雲助師匠は、本所に生まれ、昭和43年に十代目金原亭馬生氏に入門し、「金原亭駒七」の名で前座修行を始められました。その後、昭和47年に二つ目に昇進し、「五街道雲助」に改名、昭和56年には真打に昇進されました。師匠亡き後は、口演速記本等から三遊亭圓朝氏の大作を復活させるなど、独自の芸を創り上げ、落語

界をけん引する本格派の演者の1人として現在も活躍されています。昨年、人間国宝に認定された後も、本所地域プラザやすみだトリフォニーホールなどで落語会を開催し、本区ゆかりの落語家や区民の皆さんと喜びを共有する場を設けるなど、区内でも積極的な活動を展開されています。先日も、寺島中学校落語研究部の皆さんと一緒に雲助師匠の落語を間近で聴くことができ、心に響く渋い声と江戸風情あふれる語り口に大変感動しました。この様子は「ウィークリーすみだ」新年特別番組で後日放送予定です。

今後は、区役所内に雲助師匠の紹介コーナーを設け、その功績を区民の皆さんに向けて広く周知することに加え、顕彰式も開催する予定で

す。昨年の人間国宝認定や今回の名誉区民顕彰を契機として、“落語のまち すみだ”という新たな文化を育てながら、すみだの魅力発信にもつなげていきます。



「向島百花園」にて、雲助師匠(後列中右)・圓菊師匠・大山キャスター・寺島中学校落語研究部の皆さんと

